

交通事故発生状況（令和8年5月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	令和8年	令和7年	増減数	増減率
全国	988	982	+6	+0.6%
管区計	129	110	+19	+17.3%
富山	11	9	+2	+22.2%
石川	8	10	-2	-20.0%
福井	7	8	-1	-12.5%
岐阜	16	18	-2	-11.1%
愛知	56	44	+12	+27.3%
三重	31	21	+10	+47.6%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数	
			軽傷者数	重傷者数
令和8年	1,122	16	1,359	166
令和7年	1,162	18	1,441	167
増減数	-40	-2	-82	-1
増減率	-3.4%	-11.1%	-5.7%	-0.6%

注：令和8年の人身件数・負傷者数は速報値。

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和8年	5	0	3	2	6	—	—	—	—	—	—	—
令和7年	4	1	7	3	3	6	5	8	3	3	6	6
増減数	+1	-1	-4	-1	+3	—	—	—	—	—	—	—

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	高速隊
令和8年	4	5	4	3	0	0
令和7年	4	2	3	7	2	0
増減数	0	+3	+1	-4	-2	0

(5) 年齢層別死者数

区分	子ども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令和8年	0	0	2	3	0	11
令和7年	0	0	1	3	0	14
増減数	0	0	+1	0	0	-3

2 死亡事故(16件、16人)の特徴

今年の死亡事故は16件16人発生し、前年同期より2件2人減少している。岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数22位、増減数29位、増減率27位。また、人口10万人当たりの死者数は0.84人、ワースト28位。(全国平均:0.80人)

(1) 高齢者の死者が約7割

高齢者の死者が11人で、前年同期より3人減少し、全死者(16人)の68.8%を占め、このうち歩行者4人、自動車乗車中の死者が3人(運転者2人・同乗者1人)、自転車2人、自動二輪2人であった。

(2) 高齢運転者による事故が4割

高齢運転者による事故が6件で、前年同期と同数であるが、全運転者事故(15件)の40.0%を占め、このうち65～74歳が3件、75歳以上による事故が3件であった。

(3) 歩行者・自転車の死者があわせて5割

歩行者(5人)・自転車(3人)の死者があわせて8人で、前年同期より2人減少し、全死者の50.0%を占め、このうち高齢者の死者が6人(歩行者4人・自転車2人)で、高齢歩行者のうち2人は横断歩道横断中であった。

(4) 交差点での事故が約4割

交差点での事故が6件で、前年同期と同数であるが、全事故(16件)の37.5%を占め、いずれも信号機のない交差点での事故であり、このうち対歩行者事故が3件、出会い頭事故が3件であった。

《 その他 》

- 夜間の事故が8件で全事故の50.0% [前年:7件・全事故(18件)の38.9%]
- 若年運転者事故が2件/全運転者事故15件 [前年:1件・全運転者事故(17件)の5.9%]
- 飲酒関係事故が1件/全運転者事故15件 [前年:2件・全運転者事故(17件)の11.8%]

注：若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。
夜間は日没から日の出までをいう。
運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。
飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は0人で、前年同期より2人減少している。

※ 5月末で死亡を確認したもの

【過去10年間の死者数推移】

年別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
5月末	44	29	35	37	17	26	26	14	20	18	16
年間	90	75	91	84	43	61	75	50	70	55	...